



# 学校便り 「志々伎の風」

No. 1 5

## 目指す児童像

「自然に親しむ優しい子ども」 「自分で学び考える子ども」  
 「気力・体力を高める子ども」 「将来の夢をめざす子ども」

平成 29 年 1 1 月 1 5 日

文責

平戸市立志々伎小学校

校長 村田 俊郎

## 【地域に見守られて】

南部地区老人クラブ連合会振興大会の折、地域の方から、志々伎小学校の子の善行について教えていただきました。その子は、友達と遊びに行く途中、ごみステーションの外に落ちていた数個の空き缶に気づき拾い、ゴミステーションの中の缶の袋の中に入れてそうです。このことを本人に話したところ、これまでも何回かしたことがあるとのことでした。

改めて、地域に見守られて子どもたちが育っているのを実感しました。

## 【親子で読書・みんなで読書】

夏休みに、さかあがりの宿題ができました。友達のと一緒にと一緒にさかあがりの練習をしたけれど、一度もできなくてさとしに八つ当たりしてしまいました。



た。もうさかあがりなんて、練習なんかするもんかって思ったけど・・・。

家族や友達の手助けを得ながら、あきらめずに挑戦することのすばらしさを教えてくれる本です。「しゅくだい大なわとび」との姉妹本です。

## 【おめでとう】

文化の秋、子どもたちががんばっています。

### 【西日本読書感想画】

佳作 1年 ○○ ○○ さん

### 【平戸市美術展】

入選 2年 ○○ ○○○ さん

入選 4年 ○○ ○○ さん

### 【南部地区健全育成会標語】

優良 5年 ○○ ○○ さん

優良 4年 ○○ ○ さん

佳作 2年 ○○ ○○○ さん

## 【校内研修】

学校では、「教職員の指導技術等の向上を図ることにより、子どもたちの成長をめざす」というねらいで校内研修を1年間に30回ほど実施しています。

昨年度から「共に学び、高め合う子どもの育成をめざして」という研究主題で、指導案検討・公開授業・研究協議というサイクルで実施しています。先日、1年から5・6年までの公開授業が終わりました。それぞれの研究協議では、「子どもたちへの質問は、こうしたほうがよかった。」「見通しの持たせ方が不十分であった」など、毎回活発な話し合いが行われました。

